

みなみさんりく 議会だより



No. 79

令和7年 11月1日発行

特集

昨年とほぼ同じ
8億円黒字
P2

P 7 〈一般質問〉 ここが聞きたい！ 8人登壇
P16 〈議案審議〉 ひころの里無料に
P17 〈補正予算〉 水道基本料金 1ヵ月無料
P18 議案一覧 P19 委員会報告

《表紙》 毎年9月に行われる入谷打囃子例大祭の奉納のようす。当日は晴天に恵まれ盛大にとり行われました。

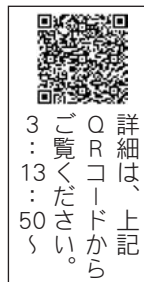
- ① 産業の振興、持続的発展 … チャレンジ農業支援事業、ラムサール条約湿地登録推進事業、約160団体の教育旅行受入など
- ② 地域経済の好環境に向けた取組 … 臨時特例給付金、燃油価格高騰対策支援事業費補助金、原油価格高騰対策漁業者支援給付金など
- ③ 人づくりから始まるまちづくり … 南三陸みらい創生塾「みなゼミ」に20名参加、おらほのまちづくり補助金を8団体に、など
- ④ 福祉の向上・子育てにやさしいまちづくり … 小中学校の学校給食費無償化、低所得世帯こども加算給付金、南三陸町こども計画の策定など
- ⑤ 学びの充実・住民満足度の向上 … 研修活動・文化芸術活動の推進、社会教育団体や指導者の育成、プロスポーツ団体との連携など

総括的質疑



Q. 失敗を恐れていないか

A. 町長 失敗をカバーし合い復興してきた

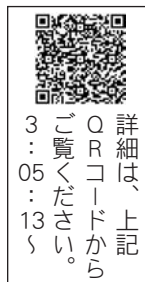


問 失敗を恐れ無難な町づくりをしていないか。
答 後で失敗と気づいたことも、町民、議会にカバーしてもらい進んできた14年だった。



Q. 良かったと思うところは

A. 町長 子育て世代の生の声が聞けた

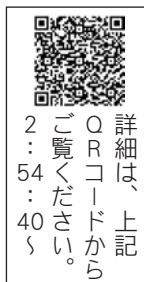


問 主要施策の中で良かったと思うところや反省点は。
答 LSAによる高齢者見守りの継続や、「みなゼミ」で子育て世代の生の声を聞けたのは良かった。これまでの取組に高評価をもらいありがたかったが、まだ十分ではないと感じた。



Q. 4年間を振り返って思うことは

A. 町長 復興事業が完了したことが大きい



問 補助金を出すの難しいが、地域からお金が漏れ出ないための取組を。
答 役場は町内最大の企業。地元で仕事、お金を回す努力はしてきた。
問 4年の任期が終わるが胸に去来するものは。
答 4年前には残っていた復興事業が全て終了したことが大きい。コロナの打撃も厳しかったが、町民のみなさんのがんばりで盛り返してきた。

決算審査特別委員会での
詳しい質疑は、次ページから！

令和6年度
決算

昨年とほぼ同じ
8億円黒字

特集

現在の体制では最後となる令和7年度9月会議は、9月2日から11日までの実質8日間開催され、一般質問（P7～）、議案審議（P16）、補正予算の審議（P17）をおこないすべて原案どおり可決しました。

また、令和6年度決算審査特別委員会（村岡賢一委員長）を設置し、予算の執行によって町民福祉は向上したのかという視点に立って様々な質疑がおこなわれ、すべての会計決算を原案どおり認定しました。

一般会計の全体像

歳入	124億0,500万円	(入ってきたお金)
一) 歳出	115億8,400万円	(出ていったお金)
形式収支額	8億2,100万円	
一) 繰越額	1,900万円	(来年度使いみちが決まっているお金)
実質収支額	8億0,200万円	黒字
財政調整基金繰入金(貯金)	4億0,200万円	
繰越額(来年度へ)	4億円	

国民健康保険	歳入	19億8,000万円	後期高齢者医療	歳入	1 億8,800万円
	歳出	19億4,400万円		歳出	1 億8,500万円
介 護 保 険	歳入	17億 1,600万円	市 場 事 業	歳入	3,800万円
	歳出	16億6,200万円		歳出	3,400万円
水 道 事 業	収益の収入	6 億2,400万円	資本の収入	9,600万円	
	収益の支出	5 億8,800万円	資本の支出	3 億 1,400万円	
下 水 道 事 業	収益の収入	1 億 1,900万円	資本の収入	1 億 400万円	
	収益の支出	1 億 1,500万円	資本の支出	1 億 1,700万円	
病 院 事 業	収益の収入	16億8,300万円	資本の収入	1 億6,100万円	
	収益の支出	20億 1,600万円	資本の支出	1 億6,000万円	
訪問看護 ステーション事業	収益の収入	4,600万円	※金額は十万円以下切り捨て		
	収益の支出	4,800万円			

予算はどう使われたのか

一般会計

歳入

町民税の減収要因は

〈町税〉

問（後藤伸太郎委員）町民税が減収となった理由と今後税収を増やす方策はあるか。

答 定額減税が主な要因である。町民のご理解と協力を得て徴収業務に尽力したい。

公共事業も積極的に

〈町税〉

問（三浦清人委員）建設業が低迷している。公共事業による支援が必要と考えるが。

答 復興事業が完了して震災前に戻った。今後も国県の補助事業を積極的に導入する。

災害弱者への目配りを

〈民生費〉

問（伊藤俊委員）避難行動要支援者の台帳が整備されたが、個別避難計画につなげてあるか。

答 台帳登録者は171名である。登録時に避難行動計画を策定し情報の共有を図っている。

赤字の病院経営、改善のための一手は

〈衛生費〉

問（三浦清人委員）病院経営の赤字額が2億2千万円である。改善策はあるか。

答 自治体病院の7割が赤字である。地域医療存続のため国の支援が早急に必要なと考える。

産後ケア事業の反応は

〈衛生費〉

問（須藤清孝委員）母子モというアプリ導入がなされたが母子福祉業務への効果はどのように。

入居募集の見える化を

〈使用料及び手数料〉

問（伊藤俊委員）町営住宅の入居率低下が使用料の減収に繋がっている。

答 退去から再入居までの過程を見える化して募集の効率アップを図りたい。

問（伊藤俊委員）災害援護資金の滞納が増えつつあるが、対応策は。

答 高齢化が進んでおり返済が困難になっている。返済期間の延長が認められたこともあり、大変な状況と思うが返済をお願いして行きたい。

震災時の借り入れ、返済は厳しく

〈諸収入〉

ふるさと納税は大事な収入源

〈寄付金〉

問（三浦清人委員）返礼品の魅力向上を図り更なる寄付額の増大を目指して。

答 県下36自治体中24位で推移してる。今年度返礼品を倍増させ寄付額も1億円から2億円を目指し鋭意努力しているところだ。

複数委員が質疑

問（今野雄紀委員）サポート業者を変更した理由と今年度の寄付額の見通しは。

答 全国的な実績を持つ事業者である。年末にかけ寄付額が大幅に増加すると思う。

論戦白熱

地域おこし協力隊の受け入れ体制整備を

〈総務費〉

問（後藤伸太郎委員）補助金5,700万円が定住に繋がっているか。また地域経済の活性化にどの程度貢献しているのか。

答 一人あたり520万円の補助額。実績としてはこれまで定住者が6名程度である。中々成果が上がっていない現況にある。3年間本制度を利用して4年目からの自立につながるよう支援している。新たな町づくりにつながるよう取り組みたい。

問（伊藤俊委員）中途退任が多かったが、伴走支援が不十分でなかったか。

答 就任する一方退任もある。様々な課題をクリアして行く必要がある。引き続き事業者および隊員へのサポートを推し進めつつ今後も事業を継続して行きたい。

歳出

移住定住相談、成果が低調

〈総務費〉

問（伊藤俊委員）相談登録者数が減っている。考えられる要因は。移住者数は8組8名と全員単身となっている。ファミリー登録や二拠点居住及びふるさと住民制度導入等の検討しては。

答 特段、要因はないと考えている。ホームページ等で引き続き情報発信を継続する。移住定住に関して、見合った空き家が少なく、移住者の増加は現状では厳しいと考える。

使用していない施設の今後は

〈総務費〉

問（須藤清孝委員）旧林際小の町民プールのような使用目的を終えた施設の維持管理はどのように。

答 利活用を模索しつつ最終的には解体することになる。個々の施設ごとに考えていく。

獣の埋設場所なんとかして

〈農林水産業費〉

問（菅原辰雄委員）磯の沢にある埋設場所は夏場悪臭が酷い。焼却処理など悪臭対策を早急に講じて欲しい。

答 他の自治体の対応を参考に取り組んでいく。

狭い道路の改善は

〈農林水産業費〉

問（高橋尚勝委員）泊浜漁港背後の狭い生活道を漁港整備事業で解消して。

問（三浦清人委員）サケ回帰は今後予測出来ない部分もあり、放流事業を継続して行へべき。

答 県はサケふ化場を集約する方針である。動向を見極め対応したい。

サケ放流事業の継続を

〈農林水産業費〉

答 町道路線ではないので、現状では整備することとは難しい。

複数委員が質疑

汚染牧草の処理完了

〈農林水産業費〉

問（須藤清孝委員）全て処理が完了したか。

答 町で所管する汚染牧草の処理はすべて完了した。

問（佐藤雄一委員）汚染牧草処理事業の財源内訳は。処理先はどこか。

答 国庫補助金と交付税のみで実施したものであり、町の持ち出しはない。処理先は公表できないが、町外である。

エコタウンを目指して

〈衛生費〉

問（須藤清孝委員）バイオマス事業の今後の展望は。

答 当初、生ゴミ発電して売電する計画であったが、必要数量が集まらないため実現していない。発電したガスは現在液肥をつくる際の熱源に使用している。

認定農業者へのフォローは

〈農林水産業費〉

問（阿部司委員）認定農業者の現状と今後の取り組みは。

答 町の認定が29名。県の認定が2名。国の認定が1名。計32名である。認定農業者連絡協議会で様々な課題を議論していく。



予算はどう使われたのか

働きの声を聞いて
〈商工費〉

学力向上のため
〈教育費〉

先生たちの心のケアは
〈教育費〉

できる工事は一度に
〈土木費〉

特別会計

認知症総合支援事業の
成果とは
〈介護保険〉

問（須藤清孝委員）就労奨励金は働きの手の意欲につながり評価したい。最低賃金制度への町の対応は。

答（須藤清孝委員）学力向上対策委員会、基礎学力向上研修会及び学習支援事業の取り組みが学力テストの成果に反映されたか。

問（伊藤俊委員）教職員のストレスチェックの現状は。

答（伊藤俊委員）教職員の下の砂防堰堤工事、下流の改良工事同時実施されたい。

問（伊藤俊委員）高齢者虐待相対は増加傾向、複雑化しているが迅速に対応できる体制は。

問（今野雄紀委員）事業費が減額されている。認知症が減っているのか、事業の効果によるものか。

答 全国学習状況調査の結果は全国平均を上回る成果を上げている。点数も大事だが学習意欲の向上にも目を向けたい。

答 管理職によるメンタルチェックシステム、衛生委員会の開催、カウンセリングや医療機関での受診など多様なケアがなされている。

答 県へ要望したい。

問 成年後見制度については任意後見と法定後見の周知も重要だが取り組みは。

答 関係機関とケースごとに共有し、丁寧に対応している。

多く揚がった魚種は
〈市場事業〉

論戦白熱

平成の森レストランにエアコンを
〈教育費〉

問（須藤清孝委員）エアコンが設置されない。早急な設置を求める。

答 建物の構造上断熱仕様の施工になる。財政部局と協議しながら設置を考えたい。

問（今野雄紀委員）ギンザケの水揚げ実績と他の主要魚種の構成は。また、ギンザケ養殖への支援の今後は。

答 前年より5億円増と好調。カレイ・タラ・ヒラメなど。ふ化場での試験飼育の結果によっては、実現可能な部分も見えてくる。

問（三浦清人委員）公共施設での食事を提供する場所にエアコンがないのはいかがか。

答 簡便な方法での設置などを含めて、前向きに取り組んでいく。



ここが聞きたい！

一般質問

一般質問は年4回の定例会議でのみ

一問一答方式で

1人90分の制限時間で行われます。

議員からの通告によって行われるため

町政全般について自由度の高い議論が展開されます。

今回は

8人の議員が 17件について

行いました。

「各議員の質問内容」

1 佐藤 雄一 議員…8ページ

- ①町内に高齢者福祉施設を誘致する考えは
- ②多くの住宅木造工作物の管理物件の点検状況は



2 阿部 司 議員…9ページ

- ①出生数維持をどう考える
- ②ふるさと納税への取組は
- ③高齢者単身世帯について



3 佐藤 正明 議員…10ページ

- ①農業の耕作課題に支援を
- ②令和元年の台風19号等で被災の復旧状況は



4 菅原 辰雄 議員…11ページ

- ①各学年12名・36名収容施設を目指して来たのでは？
- ②河川は適正に管理されているのか



5 後藤伸太郎 議員…12ページ

- ①防災体制の不断の見直しを
- ②来年は何人入れるの？



6 今野 雄紀 議員…13ページ

- ①統合医療を取り入れて、患者のQOLの向上を



7 伊藤 俊 議員…14ページ

- ①産業の持続的継承と発展に対する取り組みは
- ②財政力指数の改善・向上を図るために



8 及川 幸子 議員…15ページ

- ①魚竜化石に脚光を浴びさせてほしい
- ②森を守る人々にも光が届く施策を
- ③津波警報の対応について



各議員の一般質問の動画が見やすいよう、それぞれのページにQRコードを掲載しています。お手元のスマートフォン等でカメラを起動し、QRコードを読み込み、再生すると、その議員の質問の時間からご覧いただくことが可能です。

町内に高齢者施設を誘致する考えは

町長 実は待機者の実態の数をつかむのは非常に難しい



福祉施設

管理施設はしっかり整備しておく必要があると思うよ。

QRコードから一般質問の動画が見られます。



問 施設でお世話になる方が町外へ行かざるを得ないということで、利用者をお世話するのに大変苦労されていると聞きますが、入所を希望している待機者がいるが、実は実態の数をつかむのは非常に難しい。

答 家族の方々が安心してお世話ができ、安心して生活ができないのが実情だが。

問 全国的に介護施設があるが大きく見直しをしないと運用ができないような危機感も実は持っている。この問題については非常に多岐にわたって検討を加えていく必要があるだろうと思う。

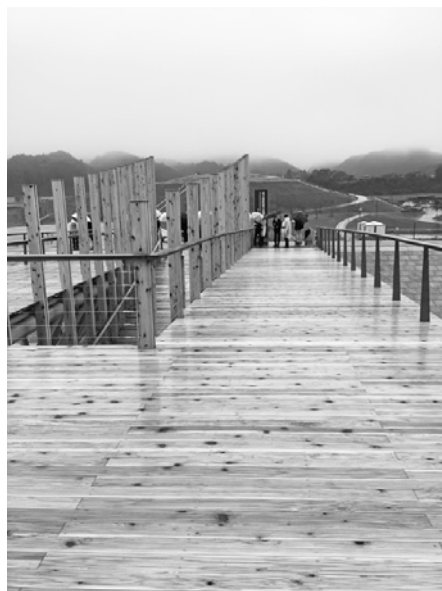
答 全国的に農産物が異常な高値が続いていると

聞くが、施設での食生活にも影響を与えている。米の問題も出ているがそれらには支援はできないのか。

公共施設

多くの住宅木造工作物の管理物件の点検状況は

町長 現状を把握し施設の長寿命化を図っていく



今後の維持管理が心配される中橋

問 一定の年数が経った多くの木造工作物は、雨風が当たり表面が傷んでくる時期を迎え管理物件の点検をする必要があると思うが。

答 現状把握を目的として定期的な点検を実施し、設計時点でメンテナンス

問 わが町のシンボルの中橋は毎日不特定多数の通行人で賑わって利用されている。特に管理と点検が必要と思われるが、設計時点でメンテナンス

問 月に一回程度町の職員が現状観察を目視で行っている。

答 景観をよくするために入入れの計画は。

問 橋を利用する方々の安全を第一に考えた形で安全対策を進めている。

問 中橋の維持管理のための準備を今から考えていく必要があると思うが。

答 安全性、耐久性という部分に影響が出て来る可能性はあることから我々としても、日常点検をしっかりと安全面の確保に取り組んでいる。

少子対策

小規模自治体には社会変化に応じた特異性ある政策が必要と思うが。

QRコードから一般質問の動画が見られます。



出生数維持をどう考える

町長 長期的に満足が得られる政策を行う



問 出生率の現況は。

答 合計特殊出生率は1・46で県下2位になっている。

問 出生率の変動が町に与える影響は。

答 出生率減少は当然人口減につながり憂えることである。

問 合計特殊出生率上昇要素は。

答 子供を多く産み育てることである。

問 若年女性の流失は出生率上昇に影響していると思うが対策は。

答 各種の子育て支援策を講じている。

問 5年前と比較して児童福祉費が増加しているが今後の政策は。

答 町の総合戦略計画に添い各種施策を展開する。

問 令和3年より寄付金額が上昇しているが。

答 事業を業者委託したためである。

問 返礼品の人気メニューは。

答 394品目あるが魚介類や米又は宿泊券等があげられる。

問 昨年は寄付者が1000件増加し6000件程だが要因は。

答 同じ人が年に2回実施している方も実数は分からない。

問 寄付者への町の近況情報等の対応は。

答 御礼状に町長直筆のサインを記載して返信している。

問 ふるさと納税の仕組み

還流経済

ふるさと納税への取組は

町長 今後も事業伸長に取り組む考えである

問 当町が実施している出生祝い金の額は。

答 第一子3万円、第二子5万円、第三子10万円。資金の問題になる。

問 出生祝い金を現在の10倍にしては。

答 事業が常態化すれば資金の問題になる。

問 社会変化に応じた政策メニューが必要では。

答 長期的に満足度を得られる政策を行う。

問 出生祝い金を現在の10倍にしては。

答 事業が常態化すれば資金の問題になる。

問 社会変化に応じた政策メニューが必要では。

答 長期的に満足度を得られる政策を行う。

問 社会変化に応じた政策メニューが必要では。

答 長期的に満足度を得られる政策を行う。

問 地方の人口減少と比較すれば住民税減収は比較にならないのでは。

答 ふるさと納税は社会全体が還流する仕組みであり今後も事業伸長に取り組む考えである。

他に「高齢者の単身世帯について」も質問を行いました。詳細は、上記QRコードからご覧ください。



人気メニューで好循環経済で活性化しましょう

農業の耕作課題に支援を

町長 関連法や総合計画の中で対応を行う



農耕作課題

次世代が農地継続のための対策を

QRコードから一般質問の動画が見られます。



問 今年も渇水の時期が長く続いており、稲作の耕作は厳しい状況下である。今後、耕作を進めて行くための支援対策を。

答 本年は、記録的な雨量不足で圃場が渇水につき、緊急的な対策として8月3日からの3日間、弘川ダムから取水した水をミキサー車及び散水車により、水不足の深刻な溜池や水田に給水を実施。今後の支援対策としては、用水確保に要した電気・燃料及び給水に必要な資材購入、あるいは井戸の掘削等に要した経費の補助を考えている。

問 6期目の中山間地域直接支払制度事業が継続になった。団体・面積数の変動は。

答 対象団体は10団体・4個人が9団体・2個人5期の面積は75・8haで、6期は1・1ha減になった。

問 年々、所有者不明農地が増加傾向、町の現状と今後の対応策は。

答 相続未登記の農地面積が273haで農地全体の16%。今後の対応策は農業委員会と連携し所有者不明農地制度を活用しながら、農地集積を図る。

河川管理

令和元年の台風19号等で被災の復旧状況は

町長 災害復旧工事の進捗に合わせ適切な処理に努めている



法定外公共物区域内 復旧・管理は誰が

問 県管理の河川にある、小森・大平・田表の取水堰の現状と、今後の対応策の考えは。

答 小森取水堰は下流域には耕作している水田がないことから、現時点では復旧計画がない。

問 昔から取水堰を利用し生活している方々の生活処理の考えは。

答 現段階では農業施設でなく、環境衛生対策の中で検討してみたい。

問 大平取水堰の復旧工事は4月末に完了しているが、5月末の豪雨で堰両サイドが流失、堰として機能しない状況だ。

答 復旧工事の実施のため、9月の補正予算に計上している。

問 田表取水堰は特に異常は確認できないとのことだが、魚道や堰を保護する護床工の考えは。

答 現状を確認し、対策を考えたい。

問 大上坊川に架設している木橋の復旧架設の考えは。

答 法定外公共物は町の所有だが現況の木橋は町所有では無いため、復旧は困難である。地域の方々には書面で提出している。

各学年12名・36名収容施設を

目指して来たのでは？

町長 36名収容に向け町内全戸に声掛けをしている

絆留学生

絆留学生は36人・旭桜寮もいづれ36人収容に増設と思っていた！今建設しないと萎んでいくのでは？

QRコードから一般質問の動画が見られます。



問 絆留学生は36名としているが、受け入れ体制は充分か。

答 南三陸高校の全国募集枠は、県教委で1年度12名程度×3年度で36名としてある。旭桜寮は24室整備しているが12室不足するので6年度12月会議に寮建設工事設計費を補正計上したが、建設費に係る町負担分の財源が不確実になり取り下げた。不足する分を町内全世帯に下宿受け入れなどを広く募集したが効果は出ていない。高校魅力化事業の取り組みは、内閣府など多くの皆様から、地方創生の最たる施策であるとの評価を受けている。今後も県教委と連携を密

にすすめていく。

問 高い評価の取り組みなら尚更、寮の12室建設は不可欠では。当初負担額2000万円がプラス3000万円の5000万円と、2倍以上の額になるが当初の計画通り進めて、絆留学生の環境整備に努めるべきでは。

答 町持ち出しにも一定程度限界がある。3000万円の増額であり、財源についての整理が必要である。寮に限定せず町内全体に下宿・民間の宿泊施設借り上げなどで対応していく。

河川環境

河川は適正に管理されているのか

町長 洪水被害を防ぎ良好な河川空間が整備されている

問 町管理河川は適正な規格構造で管理されているのか。

答 計画規模に見合った流下能力を持ち洪水を防ぎつつ、生態系・景観・利用の河川空間が整備できている。

問 県管理の八幡川上流部を含め氾濫対策は十分か。

答 氾濫が生じた箇所は把握している。当該箇所



旭桜寮の全景

問 県土木部河川係と現地を確認している。指摘の通り堆積物・流れを阻害するヨシが密生しており、県と一緒に早期に対応したい。方線見直しは諦めずに要望して行く。

答 県土木部河川係と現地を確認している。指摘の通り堆積物・流れを阻害するヨシが密生しており、県と一緒に早期に対応したい。方線見直しは諦めずに要望して行く。

防災体制の不断の見直しを

教育長 マニュアル改訂を含め体制整備に努める



問 7月30日、カムチャツカ半島地震により津波警報が発令された。被害は。

答(教育長) 夏休み中だったが、3校に児童生徒がおり、活動を中断し、校内に待機した。引き取りに来た保護者たちに、津波注意報以上で原則学校待機とするという震災の教訓を踏まえた方針を説明し、理解を求めた。この方針は、年度当初にも保護者に示している。その後、災害対策本部での決定を受け、17時35分に学校の管理下での安全確保が原則的に最も安全としつつ、保護者の責任のもと引き渡しを可とする方針を示し、18時50分までに全員が帰宅した。



災害対策本部で様々な決定が

来年は何人入れるの？

高校寮

町長 8人程度が基本枠

問 南三陸高校の全国募集は注目を集めており、昨年度は選抜がおこなわれた。希望者はできる限り受け入れてほしいと思う町民は多いが、来年度は何人受け入れられるのか。

答 推薦書類に基づいた審査をおこなう。

問 町の最優先課題である人口減少対策のために、コストをかけてでも推進すべきことだと思うが。

答 令和8年度で国の交付金措置も終了することから、受け入れ人数の拡大は慎重に検討する。

防災・減災

判断が難しいからこそ議論する意味がある。学校からの早めの引き渡しもあり得たのでは…？

QRコードから一般質問の動画が見られます。



問 災害対策本部で対応する中、見えた課題は。

答 関係機関との連携もスムーズで、本部運営に問題はなかったが、入谷地区を含めた全町に避難指示を出したことは、柔軟な対応が必要だった。

問 ある意味、いい訓練になったと言えるのでは。検証をしっかりとって、報告書等にまとめるべきと思うが。

答 次の防災会議等に表示するよう、担当課で作業を進めている。

統合医療を取り入れて、患者のQOLの向上を

町長 治療の根拠、エビデンスが乏しい

自然治癒力

糖尿や高血圧と仲良くつきあって生きがいある人生を

QRコードから一般質問の動画が見られます。



問 私は、めったに医者に行かず薬も飲まない。それは自然治癒力を信じているからだ。「自然治癒力を引き出す」という新書で、長く最先端の医療に携わってきた医師である著者が、震災をきっかけに視点が被災者に心身のダメージに機能しなかった現実と直面し、現行の医療に限界を感じていた。それを機に心と体を一体として診る全人的統合医療に注目し、西洋医学と西洋医学を補完する治療法として統合医療の必要性をうたっている。高齢者が抱えている慢性疾患が、悪い生活習慣などにに対し未病や予備軍と言われる段階で、悪い習

問 学校での対応は。答(教育長) 夏休み中だったが、3校に児童生徒がおり、活動を中断し、校内に待機した。引き取りに来た保護者たちに、津波注意報以上で原則学校待機とするという震災の教訓を踏まえた方針を説明し、理解を求めた。この方針は、年度当初にも保護者に示している。その後、災害対策本部での決定を受け、17時35分に学校の管理下での安全確保が原則的に最も安全としつつ、保護者の責任のもと引き渡しを可とする方針を示し、18時50分までに全員が帰宅した。

問 ライフラインは止まらず、警報発令が長時間に及ぶ遠隔地地震という、ある意味「想定外」の状況。夜も迫っていた。対応の見直しも必要では。答(教育長) 原則を一律に求めるのではなく、低いところを通らないのなら引き渡しなど、各学校

問 慣を改め、人間の体が本来持っている自然治癒力を引き出すのに、統合医療の各種手法が役立つということだ。これからの時代、公立病院でもこういった統合医療の要素を導入する必要性、可能性について伺う。

※本文は、原文のとおり掲載しています。



問 統合医療とは、近代西洋医学を前提として、これに補完代替療法や伝統医学等を組み合わせて、さらにQOL(生活の質)を向上させる医療であり、医師主導で行い、単に病気の治療だけでなく、精神的・社会的な側面からスピチュアリティにいたるまで包括的ケアを行う、患者中心に据えたチーム医療である。

問 公立での必要性、可能性は。答 現時点での我が国の統合医療は、治療の根拠裏付けといったエビデンスにも乏しく、患者の安心・安全のための情報が不足している。安全性・



糖尿や高血圧と仲良くつきあって、生きがいある人生を

産業の持続的承継と発展に
対する取り組みは

町長 産業を繋ぐ、人を繋ぐ仕組み作りを検討



事業承継

生業を守り、発展させていくためには…

QRコードから一般質問の動画が見られます。



- 問 事業承継対策の重要度は。
- 答 産業人口の減少には強い危機感を持っている。2015年に一度実態調査を行っているが、改めて今後調査する考えは。
- 答 コロナの影響もあり見送っていたが、今後早い段階で調査したい。
- 問 自治体関与型の事業承継モデルを作る考えは。
- 答 モデルの作成ではなく、ケースに応じた対応策を優先させたい。
- 問 ビジネスセンターの設置検討は。
- 答 商工会がその役割を果たしていくべきと考え。2つの商店街がオー

ブンして10年が近づいている。

入居店舗の契約更新について何か対策は。

答 今まさに厳しい環境の間にある。まちづくり会社と共に考えていかなければならない。

問 商店街で課題だと思われるところは。

答 夜間営業をどのようにするか、イベントをどのようにしていくか、待っているだけではなく、自ら集客努力を継続していくことが課題。

制度などの検討は。

答 まちづくり会社と検討、相談は行っている。今年度は部分貸しなども実施して工夫を行っている。

問 指定管理の公募において、地元事業所の優遇や条件緩和など検討できないか。

答 その都度、状況に応じて最適な条件等を示すように努めている。

財政力指数

財政力指数の改善・向上を図るために

町長 持続可能な財政運営、行政運営の実現を目指して取り組む

問 財政力指数の改善策は。

答 現状ベースで推移していくと認識している。

問 新型コロナウイルス感染拡大が地域に及ぼしたものは。

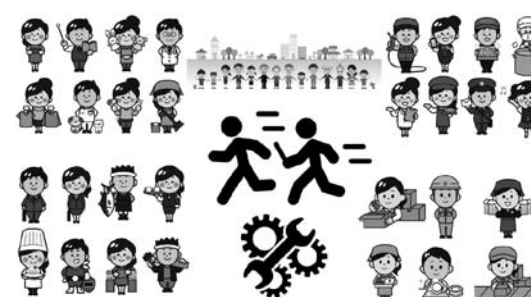
答 経済が完全に止まった。大きなダメージを受けたことは間違いない。

問 自主財源を強化していくためには。

答 経済の町内循環をいかにしていくかが一つの方向性。

問 行財政改革の見える化を。

答 情報をしっかりと示すこと以外に方法、方策があるか検討したい。



なりわいのバトンを繋ぐと、町は元気に

魚竜化石に脚光をあびさせてほしい

町長 効果的な展示方法や施設のあり方を検討



観光戦略

歌津は水産の町だから地域みんなで未来を創りましょう。

QRコードから一般質問の動画が見られます。



- 問 当町の化石に注目が集まっている。支所に置くより、魚竜化石の展示館をハマーレ広場に作る必要があるのでは。
- 答 化石ブームは交流人口の拡大につながると期待するが、魚竜館の建設には多額の建設費用と維持管理費がかかる。効果的な展示方法や施設のあり方を引き続き検討する。
- 問 歌津地区の化石は世界に誇れるもの。観光の目玉になると思うが。
- 答 同じ認識でいる。シンポジウム等も開催され、まさしく町の宝物。どう売り出していくか検討している。
- 問 ハマーレ歌津の来客が少ないのは海産物を販売する店舗が少ないこと



がネックなのでは。

答 必ずしもそうとは言えないが、商店街のPRや魅力づくりに事業者や、株式会社まちづくり未来と引き続き連携を図っていく。

問 イベントを打つより常設の店舗があった方が集客につながるのでは。

答 民間の経営に口を挟むべきではないと思う。私は歌津の復旧は遅

れていると思う。水産振興センターは復旧すべき。120億円ある町の基金を取り崩せばいいのでは。

森林管理

森を守る人々にも光が届く施策を

町長 人材の確保や育成、両面の対策が必要

問 町内に民有林はどれほどあるのか。

答 4,840haほど。

問 所有する山林の境界がわからないという相談人が多いのでは。

答 町有地であれば座標等から境界を確定できるが、民有林についての状況は把握しかねる。

問 民有林の管理をどう模索しているのか。

答 手入れが行き届かない森林を町が引き受け、経営向きの土地は林業経営者に再委託する森林経営管理制度の活用を考えている。しかし、戸倉

他に「津波警報の対応について」も質問を行いました。詳細は、上記QRコードからご覧ください。

不足しているため、戸倉

水道基本料金1ヵ月無料

**正算
補予**
9月定例会議

水道料金減免対象は

問（後藤伸太郎議員）実施時期と対象世帯の整理状況は。
答 水道基本料10月分が減免になる。世帯情報のデータ確立を行い対応していく。

渇水対策で予備費流用

問（後藤伸太郎議員）渇水対策の詳細と補助の内容は。
答 3日間、ミキサー車で水を運搬した。さらに各農家の対策に係る経費について補助を出す。



渇水対策にローリー車で水を運搬

漁業体験の継続を

漁業体験への補助とは

不定期航路事業船等に安全設備導入支援として費用の1/2を補助。

問（今野雄紀議員）安全設備として適用されるものは。
答 業務用無線、非常用位置等発信装置、救命いかだの3点。

問（三浦清人議員）国への働きかけは。
答 国の考えについては疑問に思うところもあり、既に意見を伝えている。

問（伊藤俊議員）対象者への情報提供のあり方は。
答 漁協との連携だけでなく、各地区に出向いて説明することも検討する。



守りたい海、守りたい漁業

陳情審査

◆葦の浜漁港に関する陳情書

船外機の盗難防止等のため、漁港施設に防犯カメラの設置を。

審査結果：不採択



詳細は、左記QRコードからご覧ください。
15：15～

◆加齢性難聴者の補聴器購入助成

高齢者の聞こえにくさ解消や認知症予防のため助成金の創設を。

審査結果：採択

議会のうき

ひころの里無料に

**案議
議審**
9月定例会議

今定例会議においてはひころの里管理条例の改正や歌中の改修工事及びリアス・アーク美術館の気仙沼市への管理移行に伴う財産処分などが審議され原案通り全て承認されました。

問（及川幸子議員）入館客減少による料金無料化で業者への影響は。
答 次年度事業なので今後行う。
問（伊藤俊議員）入館許可に支障はないか。
答 業者との細部検討は今後行う。



問（及川幸子議員）女子トイレの改修は。
答 女子トイレはすでに水洗化されているので予定は無い。
問（伊藤俊議員）歌中は多目的使用が求められている。今後の予定は。
答 北側施設が老朽化しているので早めに改修を考える。

広域行政事務組合で管理してきたリアス・アーク美術館の出資金などを整理し、令和8年度より気仙沼市の管理に移管するもの。

問（今野雄紀議員）今後の教育機関の移行で文化教育面での後退はないか。
答 気仙沼市との協議を重ねているので今後も後退はないと考える。

3 リアス・アーク美術館 気仙沼市の管理に



2 歌中、大規模改修に着手

総務産業建設 常任委員会

持続可能な林業振興について、高知県の視察を踏まえ、委員会報告をまとめ町への提言とした。



未来を支える林業施策

結 び

当町の森林は町域の76%を占め、地域資源として重要な価値があり、地域経済の一翼を担う重要な産業である。一方で、木材価格の変動、担い手不足、山林の手入れ不足など課題が顕在化しており、これに対応するには、町民・企業・外部人材の協働による林業の再構築が必要である。これまでの調査で得た知見を踏まえ、南三陸町の林業振興は地域資源を守り育てる『循環型地域社会の実現』に向け多角的な施策の展開が求められる。「担い手の確保・育成」

「木材の高度利用」「森林資源の管理・活用」「住民との連携」の4本柱をもとに、関係者同士が向かうべき方向性を共有していくことを始まりの一步とし、循環型の地域づくりを進めていくことが望ましいと考えられる。しかしながら、林業の振興は一朝一夕に成果が出るものではなく、長期的な取り組みが必要不可欠である。よって、南三陸町の未来を支える施策とするために、今後とも議会との連携を深め地域に根ざした持続可能な林業振興を目指して展開していくことを提言とし結びとする。

民生教育防災 常任委員会

防災・減災の現状と課題について、広島県で視察した内容を踏まえて、委員会報告をまとめ、町への提言とした。



安全・安心な町づくりを

結 び

住民の防災意識を高く保つためには、職員の意識が重要である。財源がない、時間がない、と出来ない理由を見つけてくることは簡単だ。しかし、それを出来るようにするための方策を考えることこそが、重要で尊い仕事ではないか。高台団地に道が1本というのはやはり大きな不安が付きまとう。また、ペットとの同行避難の態勢を整えることも必要だ。出来ない理由ではなく、出来る理由を考えてほしい。

災害列島日本に暮らす以上、いつどこで被災するか、誰にも分らない。防災・減災の意識を町民全てに浸透させ、高いレベルに保つということは、相当なエネルギーが必要になる。出来ないかもしれない。しかし、あきらめたらそこで終わりである。たゆまぬ地道な継続こそが、いざという時のちを守る最後の砦となる。これからも、自助、共助、公助の取組を住民と一緒に推進しながら、安全・安心なまちづくりを続けていくという決意を新たに、結びとする。

9月定例会議 議案一覧 33件

(報告4件・条例4件・工事4件・和解1件・財産1件・予算6件・認定9件・同意2件・陳情2件)

報告	報告第 6号	特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定に係る専決処分	の報告。
報告	報告第 7号	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び気仙沼・本吉地域広域事務組合規約の変更に係る専決処分	の報告について。→P16
報告	報告第 8号	令和6年度決算に基づく南三陸町健全化判断比率について。	
報告	報告第 9号	令和6年度決算に基づく南三陸町資金不足比率について。	→P16
条例	議案第 8号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定。	
条例	議案第 9号	ひころの里設置及び管理条例の一部を改正する条例制定。	
条例	議案第10号	地域経済の牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定。	
条例	議案第11号	議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定。	
工事	議案第12号	令和7年度町道横断1号線道路改良工事を菱中建設(株)石巻支店と1億4,100万円で工事請負契約を締結。工期は令和8年3月19日まで。	
工事	議案第13号	令和7年度歌津中学校大規模改修工事を山庄建設(株)と1億7,600万円で工事請負契約を締結。工期は令和8年8月28日まで。	→P16
工事	議案第14号	令和6年度町道横断1号線道路改良工事を阿部藤建設(株)と443万円増額して7,043万円で工事請負変更契約を締結。工期は令和7年10月31日まで。	
工事	議案第15号	令和6年度漁港施設機能強化事業(石浜地区)防波堤整備工事を(株)阿部伊組と2,424万円増額して3億584万円で工事請負変更契約を締結。工期は令和8年1月30日まで。	
和解	報告第16号	損害賠償の額の決定及び和解について。	
財産	議案第17号	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合の教育機関を気仙沼市へ移管することに伴う財産処分について。	→P16
予算	議案第18号	令和7年度一般会計補正予算(第2号)。	→P17
予算	議案第19号	令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)。	
予算	議案第20号	令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)。	
予算	議案第21号	令和7年度介護保険特別会計補正予算(第1号)。	
予算	議案第22号	令和7年度市場事業特別会計補正予算(第1号)。	
予算	議案第23号	令和7年度水道事業会計補正予算(第1号)。	
認定	認定第 1号	令和6年度一般会計歳入歳出決算の認定について。	
認定	認定第 2号	令和6年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について。	
認定	認定第 3号	令和6年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について。	
認定	認定第 4号	令和6年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について。	
認定	認定第 5号	令和6年度市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について。	→P2
認定	認定第 6号	令和6年度水道事業会計歳入歳出決算の認定について。	
認定	認定第 7号	令和6年度下水道事業会計歳入歳出決算の認定について。	
認定	認定第 8号	令和6年度病院事業会計歳入歳出決算の認定について。	
認定	認定第 9号	令和6年度訪問看護ステーション事業会計決算の認定について。	
同意	同意第 1号	教育委員会教育長小松祐治氏任命に同意。	
同意	同意第 2号	教育委員会委員に高橋秀憲氏任命に同意。	
陳情	陳情 6の1	葦の浜漁港に関する陳情書。	→P17
陳情	陳情 7の1	加齢性難聴者の補聴器購入に対する補助制度創設等を求める陳情書。	→P17

請 願・陳 情 の受理状況

議会では、町民の方や町外の方からの陳情などを随時受け付けています。

陳 情 書

○ OTC類似薬の公的保険外し・給付制限の中止を求める陳情書

この陳情については、議員に配布しました。

わたしの意見 あなたの提言

皆さんの考えをお聞かせください。
投稿お待ちしております!! (400字程度)

「持続可能な「いのちめぐるまち」の実現へ」



志津川 廻館 小林 翔吾 さん

私はこの町に魅力を感じ数年前に移住しました。森里海があり、他にはない取組みをしている「唯一無二の価値」がある町だと思っています。そして、人も温かく気兼ねなく声をかけてくれる会話する。そんな素晴らしい町。震災復興から現在まで多大なる努力と協力のおかげで今があると思います。

時間経過とともに、町の方向性・屋台骨が完成し、これから具体的な肉づけをしていく時期なのではないかと感じます。最近思うことは、環境や取り組みは素晴らしいが、行政の取り組みは他の市町村と比べ少し遅れているのでは?と思います。

町政と議会がうまく連携出来ず、相互に支え合えてないのではなにかと思います。議会の質問・答弁の一部では、重箱の隅を突く様な質問や、それで?と結果が分かりきっている様なやり取りが見受けられます。それは町や町民のための議会になっているのか疑問に感じます。もともと町民が興味を持ち、町のために町民の声や想いが届く未来へ繋がる議会を期待します。

持続可能な、いのちめぐるまちの実現へ向け官民（住民も）一体となつて取り組める町、この先数年後、数十年後の南三陸町、今の子ども達、その先の世代へ繋がる町づくりを期待しております。

議会から

地方自治の仕組みはよく車の両輪に例えられます。執行部と議会とは、うまく距離を保ちながら町を前へ進める。近づきすぎて、別の方向を向いていていけない。いただいた声を胸に刻んで、ご心配をおかけしないような議会を目指します!



映像配信中!

パソコンやスマートフォンから、
議会開会中はリアルタイムで、
後日見たい場合は録画
映像をご覧になれます。



皆さん議会を傍聴
してみませんか?

次回の会議（予定）
令和7年12月2日(火)
午前10時から

編集後記

最も早い梅雨明けになったと思ったら記録的な残暑が続いています。

9月議会には例年前年度の決算審査が行われますが、年間の各事業における予算に対する適正性・事業効果及び今後の改善点等の審議が行われます。

慎重審議の結果全ての議案が承認されました。また、本年は当町においても改選期にあたり町民による慎重審査が実施されると思いましたがこの広報誌の配布時期においては新たな担い手メンバーが揃うことと思います。

今後とも議会広報誌の御精読と4年間の御協力に感謝を申し上げます。編集後記と致します。

阿部 司

議会広報常任委員会
委員長 後藤伸太郎
副委員長 須藤 清孝
委員 佐藤 雄一
高橋 尚勝
阿部 司
伊藤 俊